

市販資材を用いた有機栽培大玉トマト育苗時の培土 への肥料添加量

福島県農業試験場相馬支場
平成17年度試験成績概要

1 部門名 野菜－トマト－育苗・施肥法・有機栽培
分類コード 03－04－06137700

2 担当者 中山秀貴・水野由美子

3 要 旨

- (1) 市販の有機栽培用園芸育苗培土2銘柄(サカタのタネ「有機の土」、関東農産「有機園芸培土」)で大玉トマトを育苗(約60日間)した場合、ともに、肥切れの状態となった。
- (2) 有機栽培用肥料を育苗培土に添加することで、苗形質の向上が図られた。添加量は窒素成分で300～400mg/L程度が適当であると考えられた。
- (3) 添加する肥料は銘柄、形態に大きな違いは見られなかった(固形肥料:朝日工業「ともだち643号」、「有機アグレット666」)。施用方法としては、固形肥料基肥＋液肥追肥が適当であると考えられた。
- (4) 今回の結果は、大玉トマト品種や、自根苗、接木苗で大きく変わらないと考えられた。
- (5) 試験は以下の方法で行った。すなわち、72穴プラグトレイに播種し、3葉期に10.5cm黒丸ポット(培土量約500ml/ポット)に鉢上げした後、1段開花期まで育苗(約40日間)した。

4 その他の資料など